



2021・8・11

第 418 号

101-0065 東京都千代田区
西神田 2-5-7 神田中央ビル 303

TEL 03-3221-5075

FAX 03-3221-5076

軍事費の膨張抑えコロナ対策にまわせ

病床確保や感染対策の優先を

【青森県／青森県九条の会】 3日、青森市の青森駅前公園で、「アベ・スガ政治を許さない」のポスターを掲げてアピールする「3の日行動」に取り組みました。

じっとしていても汗が流れる暑さの中、16人の参加者は「市民の力で、戦争放棄の憲法9条改悪をやめさせよう」「スガ9条改憲NO!」のパネルを持ち、オリンピックの中止や、憲法といのちを守る政治に変えようと市民に呼びかけました。

スピーチをした柳谷政志さんは「コロナ感染拡大や医療逼迫（ひっぱく）は、政府の無為無策が招いたもので、自宅療養を強要するやり方は許せません。オリンピックは中止し、病床確保や感染対策に全力を尽くすのが政府の役割です」と力を込めて訴えました。

ポスターや参加者の訴えに「そうそう」と何度もうなずいていた女性が、訴えに呼応し一緒に握りこぶしを掲げて参加者を激励するなど、通行人や公園を利用する市民からも注目を集めました。

軍見積よりどんどん上がる米兵器

防衛省は5日、自民党の会議で、航空自衛隊のF15戦闘機約70機の能力向上の改修費用の総額が、当初の見積りから23%増の計約3980億円となることを明らかにしました。開発元の米国側が部品の枯渇などを理由に当初見積額の70%増の約5320億円を提示しましたが、その後の対艦・対地ミサイルの断念などの減額協議で報告の内容になったといます。内容的には、中国の戦闘機の急速な近代化に対応するため、①電子戦能力の向上②中距離空対空ミサイル搭載数の倍増③長射程ミサイルの搭載、などをおこなうとしています（「読売」8月6日）が、22年度の概算要求では金額を示さない「事項要求」としています。

国民が苦しむコロナ禍による営業の自粛や蔓延防止に必要な予防薬接種は抑えに抑えながら、軍事費だけは大手を振って増加の道を歩んでいます。これほどの国民無視、憲法無視はありません。

32度の猛暑の中、噴き出す汗をハンカチで拭い、次々にマイクを握る参加者に、通

行人やドライバーが注目しました。

「私の妻も同じプラカードを持っています」と年配の男性が参加者に声をかけ、「頑張ってください」と激励していきました。

多彩なテーマで街角トーク

【奈良県上牧町／かんまき九条の会】

7月18日(日)11時より上牧町片岡台サンデイ前で「かんまき街角トーク集会」を行いました。

あいにく梅雨明けの猛暑スタートの日で、人通りが極端に少なかったのですが、参加者15人うち弁士が7人で「命を守る政権に交代を—今からでも五輪中止の決断を」のビラ(「かんまき9条の会」ニュース号外)をまき宣伝しました。トークのテーマも、コロナとオリンピックと政権交代以外に、コロナ禍で起きている世界の経済格差や県政問題など多彩でした。

若手憲法学者の講演に共感

【神奈川県海老名市／えびな・九条の会】

えびな・九条の会は7月10日(土)14時から、海老名市文化会館小ホールで、木村草太さん講演会「憲法を学問的に考える」を開催しました。東京都立大学教授で、テレビやラジオでも活躍する若手憲法学者の登場で、暑いなかにもかかわらず272名が参加しました。会場入り口ではアルコール消毒と検温、マスクの確認など、コロナ対策も万全に行いました。

木村さんは、一、憲法とはどういうものか？ 二、自衛隊と憲法 三、緊急事態と憲法 自由権 民主的な手続・法の支配 四、個人の尊重の理念について 非嫡出子

の相続分、同性婚問題、生活保護訴訟 おわりに一憲法のみらい、というレジュメに沿って話をされました。

憲法について例えられた「憲法は廊下を走らないようにの張り紙のようなもの」で、「過去に廊下を走る人がいてぶつかったりして危険なことがあったから張られたのだらう。憲法も、過去の権力者が国民に行った権利や自由の侵害、平和や命、暮らしの保障がされなかったことなどを2度と行わせないようにするために掲げているということだ」と。とても分かりやすく、会場の人たちも、うなずきながら聞いていました。

講演会終了後は、多くの参加者から、アンケートやカンパが寄せられました。アンケートの一部を紹介します。「とても分かりやすかった。公民の教科書に、木村先生が書かれている部分があれば、嬉しいと思った」(10代)、「憲法9条や夫婦別姓問題など、昨今話題になっている問題について、考える良いきっかけになった」(20代)、「自衛隊明記についての国民投票は安保法制が掛け金になるというお話は興味深かった。天皇制についての意味づけの話も参考になりました」(60代)「事実婚で20年以上生活しています。本日は成人している息子と参加し、親がなぜ事実婚か、理解につながる内容だと強く感じました」(50代)、とても有意義な講演会になりました。

朝鮮学校の現状と課題を学ぶ

【東京都東村山市／ふじみ9条の会】

ふじみ9条の会7月例会は「朝鮮学校のいま」を考えると題して西東京朝鮮第一初級中級学校・申(シン)校長のお話を聞きました。

パワーポイントを使った申校長の話は、具体的でわかりやすいものでした。26人がコロナ対策しやすい図書館に集いました。

8月15日の日本の終戦は、植民地だった朝鮮人にとっては「解放」でした。当時、約240万人の在日朝鮮人が帰国する時にいちばん気になることは、子どもたちが朝鮮語、ハングルを知らないこと。朝鮮語を教える「朝鮮語教習所」が各地にできて、1年で500を超え、小さな教習所を統合して学校をつくる動きがでて、東京・立川では5つをまとめて校舎をつくりました。

そのときの古い集合写真の真ん中に座っている5人の方が日本人で、土地を提供してくれ、熱い支援をしてくれました。

生徒のほとんどの家庭が日本語で生活しています。朝鮮語を理解し表現できる能力を身につけて、定住外国人としてのアイデンティティー（自己同一性）を確立し、バイリンガル、トリリンガル（朝鮮語・日本語・英語）として活躍してほしいと熱く語りました。

朝鮮総連や北朝鮮と学校との関係を問う質問にも、過去から現在にいたるまでの財政的・文化的支援について、具体的な例を挙げながら率直に答えてくれました。

日本政府は一貫して朝鮮学校を敵視し、何度か教育活動を停止させようとしてきました。近年成立した「高校無償化」からも全国の朝鮮高校が排除されています。消費税10%と引き換えの「幼保無償化」からも外国籍の学校が排除されていることを、申校長はほんとうに無念そうに話していました。「幼保無償化を考える東村山の会」を有志とつくっている私は、子ども達の学習権

を守ってもらいたい、と願っています。
(東村山市恩多町 七森 繁満)

手持ちポスター幕にも工夫

【大阪府大東市／野崎駅周辺9条の会】

野崎駅周辺9条の会は、8月6日早朝7時30分からコロナ感染を考慮し、スタンディングを中心とした17周年、212回目の行動を行いました。

スタンディング宣伝には早朝から15人が参加しました。スタンディングのために、小型A3+A4サイズの手持ちポスター幕をつくり前からも後ろからもよく見えるように工夫しました。早朝の宣伝で、横断幕などが注目されました。行動には大東母親連絡会からも「召集令状」の赤紙のビラと当会の「核禁止条約批准」「条約参加の政府つくろう」と訴えたビラを配布しました。

ハンドマイクでは、前大東原水協会長の橋田政明さん、医療生協常任理事の樋口良昭さん、大東市会議員あらさき美枝さん、母親大会連絡会藤井順子さん、南津の辺の北倉武待さん、会事務局の山崎充宣さんから、五輪より国民の命を守れ、アベ・スガ改憲反対、憲法9条守り、核兵器禁止条約承認、ヒバクシャと国民の命を守るため、政権交代を実現しようと訴えました。

核禁条約批准求め86回目のデモ

【和歌山県／憲法9条を守る和歌山弁護士会】憲法9条を守る和歌山弁護士の会は6日、86回目の「憲法の破壊を許さないランチTIMEデモ」を和歌山市で実施しました。

新型コロナウイルス感染症対策でサイレ

ントデモとしてとりくまれました。

参加した市民（75）は「私は終戦の年に生まれました。今日は広島に原爆が投下されて76年になる日です。日本は憲法9条をいかして世界に平和を発信し、戦争被爆国として核兵器禁止条約の先頭に立つべきです。日本政府が条約の署名・批准を拒否し続けていることは許せません」と話しました。

入管の人権侵害に、驚愕

【茨城県牛久市／憲法9条牛久の会】7月25日、講師に都留孝子さん（現高校教師）をお迎えして、「牛久入管って何？ そこで今何が？」と題する談話会を行いました。講師は、毎週、牛久入管：「出入国在留管理庁 東日本入国管理センター」を訪問し、そこに收容されている、“難民”の方々の支援をしている方です。

牛久入管は牛久市街からは遠く離れ、静まりかえったこの“閑静な”場所で、2010年以来6人もの方が亡くなっています。うち3人は自殺。ここにこれほどの人の苦しみがあるとは、誰が想像するでしょう。

講師が面会していたクルド人のデニズさんは、日本人女性と10年前に結婚したにも関わらず、結婚ビザが認められず、通算5年收容されました。不安から睡眠薬が手放せなくなり、牛久入管で薬の処方求めたところ、職員に暴行を受け（TBSでVTR放送）、現在、国賠訴訟中です。

デニズさんは、仮放免後、国連にも訴えました。国連は長期收容された2人の訴えを受けて、日本政府の反論もふまえて審査。

結果、国連人権理事会恣意的拘束作業部会は、「恣意的な拘禁を禁止した自由権規約に違反」しており、「無期限の收容も正当化できず」、「日本の收容制度は明確な国際人権法違反である」として、政府に改善を要求。

名古屋入管で、スリランカの留学生のウイシュマさんが、担当医師の「医療が必要である」と当局に伝えていたにも拘らず、適切な医療も受けることもなく、名古屋入管内にて、客死したのです。

当局が堅く拒否しているVTR開示を求め、彼女の死の真相を求めて、抗議の波状国会デモや反対のSNS署名が相当数に及び、自民党は、新入管法を取り下げ廃案に迫り込みました。皆さんの大きな力が、“理不尽”を認めさせたのです。闘いはこれからです。

参加者の感想のいくつかをご紹介します。
●入管について、現状を知る事が出来、有意義な時間でした。このような談話会（学習会）がないと、なかなか私たちが詳しく知るきっかけは少ないと思うので、今回を機に声を上げ広げていきたいと思いました。

（30代）

●これは、人権問題です。日本政府は人権感覚が非常に弱いので、大変な状況になっている。どうにかしなければ…。（80代）

●イギリスの入管施設では、基本的人権が守られているとのこと。日本との違いに驚きます。日本でも、そのような基本的人権が守られるような社会を作っていくことが必要だと思いました。そのような社会が入管の在り方も変えていくことに繋がるのでしょうか。（70代）

（憲法9条牛久の会 伊藤宣行）